

# 皆さんの地域の課題解決に 二つの交付金が活用されています

## チャレンジ 岩出山 地域づくり委員会 (城山の桜応援企画) 臥牛プロジェクト 「春の陣」 交付額: 774,000円

老木化が進む城山公園の桜をなんとかしたい。復興した有備館とともに、歴史と学問の町の象徴である「城山」に活気を取り戻し、観光の基盤、住民の誇りになりたい。という思いから、地域で活躍する若手を中心の各種団体と連携・協力し、賑わいの場・交流の場として、桜まつりをリニューアルしました。

桜の植樹資金を集める手法として、桜再生のオーナーになってもらうために竹で手作りしたグラスを販売。その差益を桜の苗木代として活用しながら、住民が城山公園を作り上げる仕組みの構築を目指しました。



プロジェクト1本目の桜の植樹の様子

## チャレンジ 松山 まちづくり協議会 甲冑制作事業「松山特有の歴史・文化・遺産を発信しよう〜」 交付額: 1,000,000円

松山地域の各種イベントの盛り上げ役として、紙製の手作り甲冑を着用した「茂庭武将隊」が活躍しています。この「茂庭武将隊」が着用する甲冑をより強度のあるものにするため、地域の多くの皆さんが制作に加わってプラスチック製の甲冑を制作しました。甲冑づくりに参加した皆さんにも、地元のイベントを共に支えていこうという一体感が生まれました。

今後は、新しい甲冑の試着体験会を開催し、地域内外の多くの皆さんに松山の歴史や文化に関心を持っていただき、松山の魅力発信につなげていきます。



甲冑制作の様子

## ステップアップ 鳴子 地域づくりネットワーク 介護福祉施設慰問事業 交付額: 200,000円

これまでにチャレンジ事業交付金を活用して製作したこけしの浴衣を着用して、市内外の介護福祉施設などを巡回し、伝統踊りなどを披露してきました。

今回は音響設備を整え、鳴子温泉郷に伝わる中山平温泉の「しんとろ節」、鬼首温泉の「鬼首甚句」、川渡温泉の「川渡音頭」、鳴子温泉の「鳴子温泉小唄」「鳴子踊り」など、地域の伝統の保存・継承を推進しました。

今後は、慰問事業のほか、各種イベントなどにも積極的に出演し、地域の活性化、鳴子温泉の発信に貢献していきます。



新しい音響設備で踊りを披露している様子

## ステップアップ 宮沢 地域振興協議会 地域間・世代間交流事業 「宮沢ふるさとまつり」 交付額: 200,000円

「宮沢ふるさとまつり」を、これまで以上に多くの住民が関われる地域を挙げたまつりとするため、運営体制を見直し、あわせてスタッフ用のベストを整えました。

高齢者から子どもたちまで、運営スタッフがベストを着用したことで一体感が生まれ、地域をあげたまつり運営を行うことができました。

これを機に、今後も住民同士の融和を図りながら、郷土を愛する心を育むまつり運営を行っていきたいと思います。



多くの人で賑わった宮沢ふるさとまつり

## ステップアップ 東大崎 地区振興協議会 みんなで来て、観て、共感しよう! ~映画「あん」上映会~ 交付額: 200,000円

近年、高齢者だけの世帯や核家族世帯、夫婦共働き世帯が増加し、労働環境の多様化などもあって、住民の生活スタイルが大きく変化しています。これに伴い「個」の時間が優先され、地域が大切にしてきた「結い」の精神が希薄になりつつあります。

今回は、地域の子どもから高齢者まで、楽しみながら同じ時間と空間、そして感動を共有できる事業として映画の上映会を行いました。

地域の融和を進める機会となり、今後の地域づくりや課題解決への新たな一歩となりました。



満員御礼となった上映会場

## ステップアップ 中里 駅南地域協議会 地域内での見守り体制の確立「防犯活動」 交付額: 200,000円

古川第二小学校と第三小学校の通学区域で、近年の通学人数の増加に加え、地域内に大型店舗が出店するなど、車と人の流れが大きく変わろうとしています。

交通事故を防止すると共に、子どもたちを不審者から守ることを狙いに、防犯ステッカーや自転車防犯プレート、防犯用ベストを作成しました。

今後、地域内の防犯パトロールの強化もあわせて行い、交通安全や防犯への意識向上を図りながら活動していきます。



不審者対策であり、住民の防犯意識を高める効果が期待される

皆さんの住む地域のまちづくり協議会や地域づくり委員会が行う地域づくりに、大崎市地域自治組織活性化事業交付金が活用されています。

組織運営のために均等割と人口割で一律に交付される「基礎交付金」のほか、地域や地区の課題を自分たちの手で解決しようとする際に申請できる「チャレンジ事業交付金」と「ステップアップ事業交付金」があります。

チャレンジとステップアップ2つの交付金は、市民と学識者などで構成する大崎市地域自治組織活性化事業交付金審査委員会の審査を経て、その適否が決定されます。

審査では、申請団体からの「プレゼンテーション」や「ヒアリング」を通じて、申請に至った課題をどのように把握し、どんな事業によって課題解決に取り組むか、どれだけ話し合いを重ねてきたかなどが確認されます。

平成28年度は、チャレンジ事業交付金に2団体、ステップアップ事業交付金に4団体が採択されました。平成29年度も審査会を実施しますので、ぜひ、審査会を傍聴してみてください。平成28年度の第3回審査会は、3月4日(土)午前10時から、市役所北会議室で開催します。

◎ まちづくり推進課地域自治・NPO担当 ☎ 2350669

### チャレンジ事業 交付金とは

地域課題の解決や、地域の特性・資源を生かした地域づくり事業に活用することができる交付金です。年度内に1団体ににつき2回まで申請が可能で、2回合わせた上限額は100万円です。総事業費の8割まで申請することができます。

申請団体からのプレゼンテーションをもとに審査が行われ、住民相互の合意形成や自主財源の確保など、地域自治組織の経営力や組織力の高まり、申請に至る過程が重視されます。

これまでに、34件の事業が採択されています。

### ステップアップ事業 交付金とは

こちらも地域課題解決などの事業に活用できる交付金で、申請回数や交付率はチャレンジ事業交付金と同様ですが、上限額は20万円となります。

審査はヒアリング形式で行われ、申請者との話し合いで、課題解決に向けたより良い方策を導き出す「申請団体の育成の視点」もあります。チャレンジ事業交付金に比べて、取り組みやすい制度であるため、これまでに、50件の事業が採択されています。